

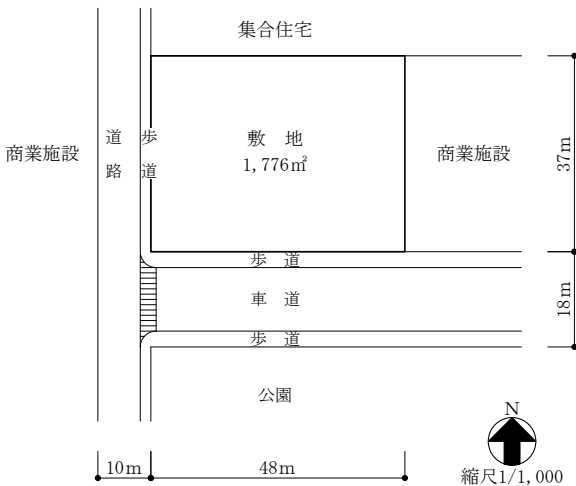
## 地域図書館（段床形式の小ホールのある施設である。）

### I. 設計条件

この課題は、地方都市の市街地において、子どもから高齢者までの幅広い世代を対象とする地域図書館を計画するものである。この施設は、図書館としての機能他、地域交流を促進し、地域コミュニティの核となる機能を併せもつものとし、地域住民にとって親しみやすく気軽に利用できるようにする。

#### 1. 敷地及び周辺条件

- 敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
- 敷地は、平坦で道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- 敷地は、第一種住居地域及び防火地域に指定されている。また、建ぺい率の限度は70%（特定行政庁が指定した角地による加算を含む。）、容積率の限度は200%である。
- 電気、ガス及び上下水道は、完備している。
- 地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- 地下水についての特別な配慮はしなくてよい。
- 気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。



#### 2. 建築物

- 構造、階数等  
鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造又はこれらの併用とし、地下1階、地上2階建ての1棟の建築物とする。なお、梁については鉄骨造としてもよい。また、地下1階については、機械室を配置するが、その計画はしなくてよい。
- 床面積の合計  
地階を除く床面積の合計は、2,300㎡以上、2,500㎡以下とする。  
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- 要求室  
下表の室は、すべて計画する。

室名	特記事項	床面積
開架閲覧室	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般開架閲覧スペース（約300㎡）を設ける。</li> <li>一般開架閲覧スペース内には、一般開架用閲覧席（50席程度）を設ける。</li> <li>児童開架閲覧スペース（約100㎡）を設ける。</li> <li>児童開架閲覧スペース内には、児童開架用閲覧席（15席程度）を設ける。</li> <li>レファレンスコーナー（約20㎡）、ブラウジングコーナー（約50㎡）を設ける。</li> <li>出入口にはBDSを設ける。</li> </ul>	約600㎡
閉架書庫		約100㎡
サービスデスク	貸出・返却カウンターを設ける。	約40㎡
小ホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>2階に設ける。</li> <li>ホールの客席は150席（固定式）とし、床は段床とする。</li> <li>車いす使用者用アース5席を設ける。</li> <li>ホールの天井高は3m以上とし、無柱空間とする。</li> <li>ステージを設ける。</li> <li>ホワイエ（約60㎡）、コントロールルームを設ける。</li> </ul>	約300㎡
控室	小ホールのステージに直接アプローチできる。	約15㎡
学習室	自由に学習できるスペースとして利用する。	約100㎡
多目的室	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ学習や集会、地域展示情報の展示等に利用する。</li> <li>2室（多目的室1（約70㎡）、多目的室2（約70㎡））を設ける。</li> </ul>	計約140㎡
交流ラウンジ1	エントランスホールから直接アプローチする。	約40㎡
交流ラウンジ2	屋上テラスへ直接アプローチできる。	約80㎡
地域交流カフェ	<ul style="list-style-type: none"> <li>30人程度が利用できるようにする。</li> <li>厨房を設ける。</li> <li>テーブル、いす等を設ける。</li> </ul>	適宜
エントランスホール	風除室を設ける。	
展示ギャラリー		
事務室	6人分の事務スペースを確保し、机、いす等を設ける。	
館長・応接室		
スタッフ更衣室	男女別に設ける。	
スタッフ休憩室		
作業室	荷解き室を兼ねる。	
設備スペース	各自が採用した設備計画に応じて計画する。	

・上記の室に関連して必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。  
・その他必要と思われる室等は、適宜計画するものとする。

#### 3. その他の施設等

- 読書テラス（屋外で読書を楽しめるスペース）を、次のとおり計画する。
  - 地上に設けるものとし、30㎡以上（ピロティ、上部に屋根等がある部分を含めてもよい。）とする。
  - 一般開架閲覧スペースからアプローチする。
- 屋上テラス（来館者が自由に散策できるもの）を、次のとおり計画する。
  - 1階の屋上に設けるものとし、まとまったスペースで50㎡以上（上部に屋根又は上階がある部分は算入しない。）とする。
  - 交流ラウンジ2からアプローチする。
  - 植栽を計画し、ベンチ、テーブル等の屋外ファニチャーを設置する。
- 駐車場は、地上に平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、サービス用として1台分を設ける。また、来館者用及び職員用の駐車場については、近隣の公共駐車場を利用するものとする。
- 駐輪場は、利用者用として30台分（1台当たり0.5m×2m程度）を設ける。
- ごみ置場を設ける。
- (1)～(5)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

#### 4. 計画に当たっての留意事項

- 建築計画については、次の点に留意して計画する。
  - 利用者部門と管理者部門とを適切にゾーニングし、明快な動線計画とともに、避難等に配慮する。
  - 来館者が利用する要求室については、快適性及び利便性に配慮する。
  - 経済性及びバリアフリーに配慮する。
- 構造計画については、次の点に留意して計画する。
  - 建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画するとともに、経済性にも配慮する。
  - 構造種別、架構形式、スパン割を適切に計画する。
  - 部材の断面寸法を適切に計画する。
- 設備計画については、次の点に留意して計画する。
  - 空調設備、給排水衛生設備、電気設備等を適切に設け、環境負荷低減に配慮する。
  - エレベーターを適切に設ける。

## II. 要求図書

答案用紙1及び答案用紙2の定められた枠内（寸法線については枠外でもよい。）に、黒鉛筆を用いて記入する。

#### 1. 要求図面（答案用紙1に記入）

下表により、所定の図面を作成し（フリーハンドでもよい。）、必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図兼配置図 1/200	①1階平面図兼配置図及び2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の主要寸法（柱割り及び床面積の計算に必要な程度） ロ. 主要な部分の床レベル（記入例：FL+500） ハ. 室名等 ニ. 要求室の床面積 ホ. 開架閲覧室には、書架、閲覧机、いすを図示する。 ヘ. 採用した構造種別、架構形式及びスパン割に応じて必要となる構造要素（凡例の空欄に記入し、図示する。） ト. 設備シャフト（パイプシャフト（P S）、ダクトスペース（D S）、電気シャフト（E P S））の位置 チ. 設備計画に応じた設備スペース（ただし、屋上に設けた場合は断面図に図示する。） リ. 断面図の切斷位置 ②1階平面図兼配置図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 建築物の出入口 ロ. 地下1階部分の位置（点線で図示し、床面積を記入する。） ハ. ドライエリアの位置（ある場合のみ） ニ. 読書テラス（床面積を記入する。） ホ. 駐車場（台数及び出入口を明示する。） ヘ. 駐輪場（台数を明示する。） ト. ごみ置場 チ. 通路、植栽等 ③2階平面図には、次のものを図示又は記入する。 イ. 居室の最も遠い位置から避難階段のーに至る歩行距離及び経路 ロ. 屋上テラスの位置（床面積を記入する。） ハ. 吹抜けとなる部分（ある場合のみ） ニ. 1階の屋根、ひさし等となる部分（ある場合のみ）
(2) 2階平面図 1/200	
(3) 断面図 1/200	①切斷位置は、小ホールを含み、建築物の全体の立体構成がわかる断面とする。なお、水平方向、鉛直方向の省略は行わないものとする。 ②同一階において、床レベルの異なる室又は部分には、その寸法を記入する。 ③屋上に設備スペースを設けた場合は図示する。 ④塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高及び主要な室名を記入する。 ⑤基礎、梁及びスラブの断面を図示する。
(4) 2階梁伏図 1/200	①2階からの見下げ図とし、主要な柱、大梁、小梁及びスラブは構造部材表の符号を明示する。 ②構造部材表に主要な柱、大梁、小梁及びスラブの断面寸法を記入し、主要な部材が複数となる場合は空欄に符号・部材・断面寸法を追加記入する。なお、梁に鉄骨を使用した場合の断面寸法は、H-○×○のように記入する。

#### 2. 面積表（答案用紙1に記入）

- 地上1、2階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。

#### 3. 計画の要点等（答案用紙2に記入）

- 建築計画について、次の①～④の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 建築物のアプローチの計画について、その位置とした理由及び動線計画において配慮したこと
  - ゾーニング及び内部動線の計画（避難計画を含む。）において配慮したこと
  - 一般開架閲覧スペース及び児童開架閲覧スペースの計画について、その配置とした理由及び計画において配慮したこと
  - 小ホールの計画について、その配置とした理由及び計画において配慮したこと
- 構造計画について、次の①及び②の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 建築物に採用した構造種別、架構形式及びスパン割りとこれらを採用した理由
  - スラブ及び小梁の架け方について、配慮したこと
- 設備計画について、次の①～④の要点等を具体的に記述する。なお、要求図面では表せない部分についても記述する。
  - 開架閲覧室、小ホール及び館長・応接室に採用した空調方式と採用した理由
  - 給排水衛生設備の計画について、採用した給水方式と採用した理由
  - 排煙計画について、配慮したこと
  - 空調設備、給排水衛生設備及び電気設備における光熱費の削減のための「設備方式・手法」及び「その具体的な削減効果」について四つ記述すること